

裏磐梯の高山植物

2年 T・S

私がウルシに興味をもったきっかけは1年生の始めに調べていた、「水芭蕉」から「ほかに毒をもった植物」を調べている時にウルシを見つけたことです。それからはウルシについてずっと調べていました。始めはウルシの仲間がたくさんあるとは知らず、毒の性質についても何もわかりませんでした。それからはウルシの仲間中心に調べていきました。

そして5つのウルシ科の毒について、調べていきました。それからは「かぶれ」についても調べていきました。「かぶれてしまうのはなぜか」とか「毒の性質」など毒を中心に調べていきました。そしてウルシ科のウルシ以外のほかの4種類についても調べていきました。毒は葉や根ではなく根っこにあることや、ウルシの見分け方などがわかりました。調べ学習をしているときは、5種類のウルシの中で一番毒が強いもののランキングを作ったり、ウルシからカゴができることなどが、たくさんわかりました。

その中でも1番気になったのは「ウルシに近づいただけでかぶれてしまった」ということです。「ウルシにさわった覚えのない人が、ウルシかぶれになってしまった。」という資料を見つけました。人によっては近づいただけで、かぶれてしまうことがわかりました。

そのかぶれの症状も人によって違うみたいです。でも手や顔に赤く飛び火のようなものができてしまい、かゆくなると書いていました。いろいろ調べていき最後にはウルシについてのまとめをして、あとは実際に見るだけになりました。2日目はネイチャーガイドの先生がY先生だったので、たくさんウルシについておしえてくれました。そしてたくさんのがわかりました。

実際に行ってみて林間学校の半日コースではウルシも水芭蕉も見ませんでした。山登りがとても辛かったです。写真も撮れませんでした。しかも水芭蕉は花が咲ける季節はもう終わっていて見ても葉っぱだけと言われてしまいました。

1日目のコーステーマが「高山植物」だったから選んだけど水芭蕉は見ませんでした。他のコースに行った人が、「水芭蕉の葉を見た」と言っていました。でも「水芭蕉は終わっている」と言われていたので、ウルシが見れば良かったので水芭蕉は諦めていました。

2日目の1日コースでは、たくさんの植物を見ることができました。ウルシも見ることができました。ネイチャーガイドの先生が横田先生だったので、たくさん説明をしてもらいました。



ウルシの見分け方や、ウルシのどこに毒があるのかなど、たくさんおしえてもらいました。全種類は見なかったけど、ヌルデを見て良かったです。「ウルシに近づいただけでかぶれる」と調べているときにわかったけど、私も皆も近づいただけではかぶれませんでした。

そのほかにも毒のある植物がたくさん見ました。私が見たウルシはそんなに大きいものでは、ありませんでした。木でもありませんでした。でも近くで写真を撮れたので良かったです。この写真が実際に行って撮ってきたウルシの写真です。このウルシの根っこに毒があります。見た目は普通でどこにでもあるような葉だけど、ウルシの見分け方は葉の裏側でわかります。1つの茎に葉がたくさんあるのが、ウルシです。

これはウルシ科の中でもそんなに毒の強いものではありません。でも、もし根などにさわってしまうとかぶれてしまうかもしれません。かぶれはとてもヒドイものでウルシはかぶれの症状がでるのが遅く、ウルシに近づいただけでもかぶれてしまう人もいるし、ウルシはそこらへんにあるものと葉も似ているので、ウルシだと気付かず触ってしまう人もいます。かぶれは何日も続く。

その他手だけではなく目や全身にもかゆみがでて、熱がでるときもある。私が「ウルシかぶれ」について調べているときに「ウルシかぶれを体験した」人の日記を見つけました。そしてその人の資料を読んでいると、その人も始めはウルシについてなにも知らなくて、その人は公園にいる時にウルシに触ってしまいそれに気づかずに手で顔を洗ってしまったから、目にかゆみが出てその何日か後に全身にかゆみがでて病院に行ったら、「ウルシかぶれ」と言われたみたいです。

ウルシの1番の特徴は人によってだけど、「近づいただけでかぶれてしまう」ことだと私は思います。始めは水芭蕉にもウルシにも毒があることは知らなかったし、ウルシという植物も知りませんでした。でも調べていくうちに、たくさんのがわかりました。またウルシからカゴができていたこともわかりました。

カゴに使うウルシは写真のようなものではなく、もっと大きくて立派な木のウルシです。木の部分を削りそれを使ってカゴを作るといいます。そのほかにこれは、私が調べているときにでてこなかった話です。

それは「ウルシの樹液を採っている人の仕事わかる」授業を道德の時間にやり、そのビデオを見ました。そのウルシの木も、大きな木で木が大きくても採れるウルシの樹液はとても少なく、そのためウルシの樹液はとても高価な物で高級です。

そのウルシの樹液はお茶碗などに使われています。完成したお茶碗の上からウルシの樹液を塗ると、綺麗になります。ウルシの樹液は真っ黒です。ウルシは毒があって危険な植物だけど、そんなウルシを大事にしている人がいることがわかりました。

最後にウルシが見てよかったです。本当は水芭蕉も見かったけど林間学校に行ったのが9月だったので、季節的に花が咲く季節は終わっていたみたいなのでウルシが見られただけで良かったです。

でも私と違うコースに行った人が「水芭蕉の葉」を見ることができウルシの葉の写真を

見せてくれました。

今回の林間学校で今まで調べていたウルシを見ることができてとても嬉しかったです。

林間学校に行くまでに、たくさんウルシについて調べてきてウルシについてたくさんことがわかりました。始めは毒のことで水芭蕉を調べていました。それからウルシに変えてからも毒を中心に調べていきました。そのなかでも1つだけわからなかったことがありました。それは2日目のネイチャーガイドのY先生におしえてもらいやっと、ウルシの見分け方がわかりました。このことは、今まで調べてきたなかでも答えがでてきませんでした。

でもY先生が「ウルシは葉を見ればわかる」と言ってくれたので、やっとわかりました。林間学校ではウルシが見られて本当に良かったです。またネイチャーガイドが横田先生だったのでたくさん説明をしてくださって、とても良かったです。

今までたくさんのことを調べてきて、いろいろわかったしウルシを見ることができて本当によい林間学校になりました。頑張ってたたくさん調べてきたから、ここまでレポートが書けたのだと思います。

まだまだウルシについて知らないことがあると思います。それにウルシ以外のウルシ科の仲間ももっと調べておけば、良かったです。

でもウルシが見られて本当に良かったです。